



和牛甲子園

# 第4回和牛甲子園まで 残り1か月

# 動物科学部通信

第4回和牛甲子園の開催まで、

残り1か月を切りました。今年

度はオンラインでの開催になるため、体験発表も動画での審査になります。東京に行くのは牛たちだけです。先日、練習を重ねて体験発表動画の撮影を終えました。あとは当日の結果を待つばかりです。

出荷1か月前になる今月に、エコーを使った第五の肉質診断を実施しました。知多大動物病院にご協力いただき、今回は生徒が実際に機材を操作させていただきました。肢のケガやエサ食いの低下など、心配もありましたが推定BMSNo.は5等級に該当する9と11という嬉しい結果になりました。昨年度の牛より良い番号がついているので、当日の結果が楽しみです。

出荷まで1か月を切ったということは、牛と過ごす時間も残りわずかになっているということです。おいしい肉になってほしい思いと、生まれて約29ヶ月を共に過ごした牛がいなくなる寂しさの両方を感じながら、担当する生徒たちは牛と接しています。悲しくなるからそばにいられない。ではなく、限られた時間だからこそ、愛情を込めることが何よりも大切です。後悔しないように、牛たちに事故がないように、残り1か月も頑張ります。

Vol.14  
令和2年  
12月

## 現在の状況

まさき号(雌)  
体重:709kg  
推定BMSNo.9

神福桜号(去勢)  
体重:718kg  
推定BMSNo.11



## 認証状が届きました！！



11月19日に審査を実施し、その後修正箇所を直し、先日ついに認証状が学校に届きました。豚でのJGAP認証は、愛知県内農業高校初。そして養豚が盛んな田原市でも初めての取り組みとなりました。GAPは認証を受けて

終わりで  
はありま  
せん。農  
場の維持  
や、さら  
なる改善  
を今後も  
続けてい  
きます。

## ～校内プロジェクト結果～

優秀 分野Ⅰ類 私たちの目指す和牛生産  
～美味しい・安い・手軽な牛づくり～  
藤井琴未、村上すず 他1名

優秀 分野Ⅲ類 酒粕黒豚で地域活性化  
～焼酎粕の飼料化に向けた取り組み～  
富岡むさし、河合晃平 他2名  
【来年度県大会出場決定】

## 専攻生のつづやき

### ～和牛甲子園前特別編～

出品牛2頭を担当する2人に  
今の気持ちを聞きました。

私たちが今まで愛情込めて育ててきた牛がもうすぐ出荷になります。私は神福桜を担当してきました。牛を通して、多くの知識を得るだけでなく、いのちのありがたさを改めて知ることができました。最後まで一緒に頑張ろうね、さくちゃん。

【三A 森口奈津希】

私はまさきを担当してきました。まさきはお嬢様のような性格で、わがままな牛でしたが、一緒に過ごす中で徐々に仲良くなれました。長い時間をまさきと過ごせてよかったと思います。最後まで、今までの愛情をこめていきます。

【三A 立岩 明海】

